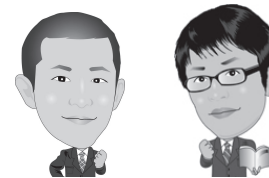


少しの気遣いで劇的に子どもの対応が変わる



最近のGUTS!!

教師指導手帳を新しくしました。社会人の人材育成で取り入れられている手法やイチロー・エジソン・アインシュタインなどの成功者の成功の秘訣をまとめた成功学などを参考にリニューアルしています。私たちの指導の基本は、「日々改善、日々成長」という考え方です。日々改善するためには、きちんと振り返ってどのような指導をしたのかを文字にして残し、そして、それをふまえ、次回どのようにすればよりよい指導になるかを考えて、その内容も文字にして残すことが大切です。指導の目標を立てて、そして、日々の指導を振り返りながら日々改善を行っていく。お子さんの勉強同様に、家庭教師の指導力向上に大切なことも、やはり毎日コツコツ続けることです。これからもさらなる指導力向上に努めたいと思っています。

■会員様の声 (いつもコメントありがとうございます!!)

宿題はきちんとしているというか、それしかしていないようなので、少しずつ増やしてやって下さい。理科や社会などの宿題もアドバイスお願いします。(中学2年生)

→ コメントありがとうございます。理科・社会の勉強の仕方でもアドバイスしていきたいと思っています。また、勉強は、自主的に取り組むことが最も大切なので、ルーティンなどを自分で作ってもらうなどして、自発的に勉強をする姿勢も育てていきたいと思っています。

いつも丁寧に指導して下さいありがとうございます。一つの問題を理解するのに時間がかかりますが、理解するまで何度も何度も繰り返し付き合っ下さるのは、本当にありがたいです。2年生になり、内容も益々、難しくなりますが、子どものペースでゆっくり進めていただけたらと思います。(中学2年生)

→ お子さんのペースに合わせて指導ができるのが家庭教師の強みだと思っています。これからはお子さんの様子を見ながら、優しすぎない厳しすぎないように適度なペースで指導をしていきたいと思っています。

わからない事や疑問に思う事をどんどん聞いて先生に教えてもらいたいです。僕は集中力も足りないので休まず取り組めるようにしたいです。よろしくお願いします。(中学1年生)

→ 分からないことや疑問に思うことはその都度書き出すようにしておくといいですよ。そうすれば、先生が来た時にすぐに質問ができます。また、集中するには、時間を区切って取り組むとよいと思います。15分程度の時間幅で時間を区切って勉強してみてください。

■各種検定試験のご案内

2010年度第1回英語検定：(受付期間)03月09日～05月20日 (検定日)10年06月13日
平成22年度第1回漢字検定：(受付期間)03月01日～05月18日 (検定日)10年06月20日
第190回数学検定(個人)：(受付期間)05月06日～06月22日 (検定日)10年07月25日
申込みは、インターネット、または、書店店頭にて行うことができます。
英検:<http://www.eiken.or.jp> 数検:<http://www.suken.net> 漢検:<http://www.kanken.or.jp>

定期テストなどが無い時期に検定を利用すれば、勉強へのモチベーションを維持でき、目標に向かってがんばる力も育成できます。検定に申し込んで、更なる実力アップを目指しましょう。

■ガッツ家庭教師お問い合わせ先

名古屋市 中村区 椿町20-15 名古屋国鉄会館3F
TEL: 0120-758-145 (052-459-3155)



私事ですが、最近、自転車を探しています。しかし、去年のモデルなのでメーカーはもう作っておらず、頼りは自転車屋さんの売れ残った在庫のみ。そこで、在庫を見つけるために、愛知県、岐阜県の自転車屋さんに片っ端から電話していきましました。自転車をかうのは私なので、私はお客さんの立場です。にもかかわらず、時にはすごく冷たくあしらわれることもあり、嫌な気分も味わいました。

そこで、電話をする時に「お忙しいところ申し訳ないのですが・・・」と枕詞をつけて話すようにしてみたら、自転車屋さんの対応が一変。対応がすごく丁寧になり、気持ちを込めて、「在庫がなくてごめんなさいね」とまで言ってもらえました。そのため、気持ちよく電話をし続けることができるようになりました。

本当に些細なことではあるのですが、少しの気遣いで劇的に相手の対応が変わることがあるんだと感じた出来事でした。これは、お子さんとのコミュニケーションでも当てはまることだと思います。いつもテレビばかり見ている我が子を見ると、つつい勉強をやる気がないと決めつけて、頭ごなしに「勉強しなさいよ!」って言ってしまいます。こうやって言われてしまったら、子どももカチンときて、本当にやる気をなくしてしまいます。そうすると、結局言った方も嫌な気分を味わい、かつ、子どもも勉強しないので、状況としては言わない方がまだマシだったということになります。

ここで少し気遣いをして、お子さんに対して「勉強しなさい」と頭ごなしに言うのではなく、ねぎらいの言葉をかけてみたり、どのようにすれば勉強がしたくなるのかなどと一緒に考えてあげたりすれば、状況は一変します。「どういうことを言ったらよこんでもらえるか」、「どういう対応をすれば自分も含めてうれしい気持ちになるか」を少し考えてから話しかけるようにすれば、きっと子どもが言うことを聞いてくれる確率もアップしますし、言った方の気持ちもよくなります。きっとよいコミュニケーションになると思います。

ちなみに、この気遣いをするようになって気持ちよく自転車屋さんに電話できるようになりました。その軒数は、100軒以上。しかし、残念ながら自転車はまだ見つかりません(汗)

